

第1章 ふれあいあふれる協働のまちづくり - 協働・人権 -							
人と地域の関係を育み、互いに尊重し合えるまち、多様性と包摂性のある豊かなまちをつくります。							
<ul style="list-style-type: none"> ●地方自治が目指す住民自治の浸透を図りながら、みんなが力を合わせ、考え、町民と行政が一体となって協働によるまちづくりを目指すとともに、町民一人一人がパートナーシップを意識しながら誰一人取り残さない社会を実現できるまちを目指します。 ●地域コミュニティ活動・地域間交流を推進し、社会参加の促進による良好なコミュニティの形成を図ることで、地域づくりを担う人材の育成と、住み慣れた地域への郷土愛を育むまちを目指します。 ●人権を尊重する意識の向上を図るとともに、過去の歴史から学び平和を希求する心、命の大切さを後世に伝え、受け継いでいくまちを目指します。 ●男女の性別、障害のあるなしに関わりなく、誰もが社会に参画し活躍できる多様性と包摂性のあるまちを目指します。 							
細節	個別施策	個別施策の展開	目指すまちの姿を実現するための個別施策の印象	委員からの意見	事務局補足		
町民参加の促進	1111 政策決定過程における町民の参加	<p>◇審議会等に広く町民の意見を反映させるため、専門的な知識を持つ委員だけではなく、公募の委員を積極的に登用します。</p> <p>◇若者のアイデアをまちづくりに取り入れるため、町民討議会への学生の参加を促進します。</p>		<p>町民参加とはいうが、町民という立場の主権者とは何か？日本国憲法で定められた第8章の地方自治の本旨とは何か？この基本中の基本を学ぶことが一番大切なことであると思う。今先進国と言われる国々で民主主義が崩壊しつつある中、民主主義を発展させるには、この主権者とは何か？というところから、常に深く学ぶことが必要である。*この点に関しては、住民参加を必要とするあらゆる活動の基本である。定期的に憲法と地方自治に関する学び合いの機会を作るべきである。</p> <p>学生は社会経験がないので、町民討議会への参加自体は問題ないが、それだけでは不足。20代の社会人で当事者意識のある人と混ぜて参加させると同世代で刺激し合う形になるのではないのでしょうか。</p> <p>20～30代の仕事を持ったりNPOやNGOなどの非営利の活動をしている人々の意見をくみ上げて学生にも知ってもらうことで、次世代育成が切れ目なく可能になるのではないかと思います。</p> <p>町民も学生も休日を含め家のことや仕事、学業などやらねばならないことが多くあるので、そのあたりに関わる措置が必要と思われる。本来であれば、働き方やワークライフバランスの問題にまで踏み込んで考えるべきことと思いますが、急には無理かもしれないので、該当する箇所にもそのようなことを盛り込んでいただくとともに、こうした参加を促進するための財政的な措置などを検討することが必要ではないかと存じます。</p> <p>1111 広く町民の意見を反映させるための公募は大変良いが、果たして社会的弱者の意見まで拾えるかという思いが残ります。</p> <p>自分たちの住んでいる地域をよくするための話し合いを行なう「地域づくり会議」の記載がないため、記載が必要ではないか。</p> <p>「あみ未来塾」は、言葉だけ見ても分かりづらいため、対象年齢や内容を追記したほうがよいのではないかと。</p>	個別施策へのご意見として、検討いたします。	個別施策へのご意見として、検討いたします。	個別施策へのご意見として、検討いたします。
	1112 協働のまちづくりの推進	<p>◇町民活動センターの機能向上を図り、講座や研修などの機会を充実していきます。</p> <p>◇若い世代の町民を対象に町の現状や課題、未来等についての講座を実施することで、地域のリーダーとして活躍する人材の育成を目指し、「あみ未来塾」を新設します。</p>		<p>1112 あみ未来塾は、令和5年度に新規事業で開始となることから、「新設」ではなく「実施」が正しい表現ではないか。</p> <p>町民参加の促進に対して広報等に記載する以外で、公募を促進しているようには感じられないのですが、他の方法でも様々な人の意見を取り入れられるよう行政区に対して輪番制を導入してみたいかでしょうか。(年齢や性別等もあえて指定し、様々な意見を取り入れる。)</p> <p>1111 町役場等で学生のアルバイトをつかう。若者・働きざかりの世代もタダ働きはしたくないと思う。有償ボランティアとして手伝わってもらう。</p>	<p>地域づくり会議及び地域予算制度についての記載が、個別施策へ反映されておりませんので、検討いたします。</p> <p>あみ未来塾は、総合計画策定時までに、対象年齢や内容が決まった場合には、注釈をつけて補足することを検討いたします。</p> <p>あみ未来塾は、令和5年度に開始予定の事業のため、令和5年度中に開始した場合には「実施」、令和5年度中に開始していない場合には「新設」と表記します。</p>	個別施策へのご意見として、検討いたします。	個別施策へのご意見として、検討いたします。

第1章 ふれあいあふれる協働のまちづくり -協働・人権-						
人と地域の関係を育み、互いに尊重し合えるまち、多様性と包摂性のある豊かなまちをつくります。						
<ul style="list-style-type: none"> ●地方自治が目指す住民自治の浸透を図りながら、みんなが力を合わせ、考え、町民と行政が一体となって協働によるまちづくりを目指すとともに、町民一人一人がパートナーシップを意識しながら誰一人取り残さない社会を実現できるまちを目指します。 ●地域コミュニティ活動・地域間交流を推進し、社会参加の促進による良好なコミュニティの形成を図ることで、地域づくりを担う人材の育成と、住み慣れた地域への郷土愛を育むまちを目指します。 ●人権を尊重する意識の向上を図るとともに、過去の歴史から学び平和を希求する心、命の大切さを後世に伝え、受け継いでいくまちを目指します。 ●男女の性別、障害のあるなしに関わりなく、誰もが社会に参画し活躍できる多様性と包摂性のあるまちを目指します。 						
細節	個別施策	個別施策の展開	目指すまちの姿を実現するための個別施策の印象	委員からの意見	事務局補足	
コミュニティ活動の充実	1121 地域コミュニティの活性化	◇地域住民や転入者等に対し、地域コミュニティ活動の重要性や利点等について積極的にPRして理解を深めるとともに、区長会等と連携して行政区への加入促進や課題解決への支援を行います。		<p>主権者教育の充実が求められる。</p> <p>町内会活動は、世代のばらつきの幅が広い地域ほどコミュニケーションが難しく、特定の人びとが担う傾向にあります。若手にやってもらうことも大事ですが、地域経営の観点をもった50代以上の人を取り込みつつ、若い世代同士が交流する場を設けて、地域を担う次世代を育成することを目指してはどうでしょうか。その際に、役場からファシリテーターを派遣し、地域の課題を出し合うイベントを各地で開催するなどの支援があるとよいかと思えます。ファシリテーターから報告を受けつつ、定例行事にできれば有効です。</p> <p>「町民参加の促進」と同様である。</p> <p>1121・1122 コミュニティを作ることができる地域とできない地域が同じ町内の中にもできてしまうことが課題なので、各公会堂で実施するものがある場合、参加を町内まで広げたりできるともっと参加できる人達が増えるのではないのでしょうか。</p> <p>ただし以下について検討してはいかがでしょうか。 P6行政の役割、5行目 「…誰もが参加してみたいくなるような…」 ⇒町民のニーズが多様化しているので、特定のコアな町民が要望するイベントや講座の提供も考えてはどうでしょうか。 P6町民等の役割、1行目 「…地域コミュニティの重要性…」 ⇒参加者の積極的な参加を促すために、地域コミュニティの有効性を認識することも必要かと思えます。</p>	個別施策へのご意見として、検討いたします。	個別施策へのご意見として、検討いたします。
	1122 交流の機会・場の充実	◇まい・あみ・まつり実行委員会に、より多くの町民が主体的に参加することで、地域のつながりを強め、さらに様々なニーズを積極的に取り入れた満足度の高いイベントとして開催されるよう支援します。 ◇ふれあい地区館活動では、地域の実情・ニーズに合わせた集いや学びができるよう、それぞれの地区館で、公会堂や自治会館等で活動を行う「出前講座」を展開します。また、特色ある事業やイベントを実施することで、絆・地域づくりを促進します。		<p>「まい・あみ・まつり」の目標と見直しを踏まえて、固定している開催会場の分散・移動があっても良いのではないかと考えます。（最大イベントであるものの、街の中心部と外周部とでは捉え方にギャップがあるのではないかと…）</p> <p>1121 行政区への加入は負担ばかり多く感じられ利点に分かりにくい。利点は何ですか。</p> <p>1122 各公民館やコミュニティセンターは内容がどこも同じで特色がなく、魅力に欠けるため、それぞれにオリジナル性があると良い。例：ジム、防音室、楽器がつかえる、VR体験できる、サウナ、カラオケ、マンガ図書館、カフェ、軽食など。</p>	個別施策へのご意見として、検討いたします。	個別施策へのご意見として、検討いたします。

第1章 ふれあいあふれる協働のまちづくり -協働・人権-					
人と地域の関係を育み、互いに尊重し合えるまち、多様性と包摂性のある豊かなまちをつくります。					
<ul style="list-style-type: none"> ●地方自治が目指す住民自治の浸透を図りながら、みんなが力を合わせ、考え、町民と行政が一体となって協働によるまちづくりを目指すとともに、町民一人一人がパートナーシップを意識しながら誰一人取り残さない社会を実現できるまちを目指します。 ●地域コミュニティ活動・地域間交流を推進し、社会参加の促進による良好なコミュニティの形成を図ることで、地域づくりを担う人材の育成と、住み慣れた地域への郷土愛を育むまちを目指します。 ●人権を尊重する意識の向上を図るとともに、過去の歴史から学び平和を希求する心、命の大切さを後世に伝え、受け継いでいくまちを目指します。 ●男女の性別、障害のあるなしに関わりなく、誰もが社会に参画し活躍できる多様性と包摂性のあるまちを目指します。 					
細節	個別施策	個別施策の展開	目指すまちの姿を実現するための個別施策の印象	委員からの意見	事務局補足
多様性のある社会の実現	1131 男女共同参画社会の実現に向けた啓発活動の充実	<p>◇男女共同参画に関する啓発活動を行うとともに、女性団体への支援を実施します。</p> <p>◇男女共同参画センターにおいて、男女共同参画に関する学習の場の提供および啓発活動を行うとともに、男女共同参画社会づくりを目指す団体やグループに活動の場所や機会等を提供することで、活動が充実し交流が促進するように支援します。</p> <p>◇町政に多様な意見を反映させるため、審議会等への女性委員の登用を進めます。</p>		<p>1131 1132 とともに多様性が求められ多様な意見の大切さが補完されることが求められます。これを実現するには、団体自治のリーダー及び組織全体が、多様な意見を取り入れることができなければ無理である。</p> <p>1131 日本の女性参加が低い分野は経営と政治。経営者やその団体に対して女性の登用を求めるだけでなく、実際の状況をモニタリングすることは重要。特に成績のよい事業所を顕彰する制度があってもよいでしょう。</p> <p>1133 企画展や語り部の講演会、予科練平和記念館は素晴らしいですが、限界もあります。近隣の博物館やスポットなどとネットワークをつくり、それらを巡るツアーをウェブサイトなどで提案してみるとよいかと思えます。解説看板を充実させて設置するのは効果的ではないでしょうか。また、平和教育には戦争だけでなく、人権や環境など広い視野が必要です。「どういう状態が平和なのか」を「戦争がないこと」という消極的内容でなくより積極的に提示していく必要があります。</p>	個別施策へのご意見として、検討いたします。
	1132 人権尊重に向けた啓発活動の推進	<p>◇差別のない地域社会をつくるため、誰ひとり取り残すことない包括的な人権啓発に取り組みます。</p> <p>◇国や県との連携を図り、講演会や研修会、人権相談に関する事業を実施します。</p> <p>◇人権問題や人権教育に関する職員研修会に参加し、人権を尊重する意識の向上を図ります。</p>		<p>男女共同参画に関して町役場の率先的取り組みとして女性の積極的な登用を検討するのがいいのではないかと存じます。企業や事業所等における男女共同参画等（第2章に出てくる障がい者の方に関わる事項等も）の推進のため、例えば、競争入札における評価等で価格だけでなく、こうした事項に関する基準を入れている自治体もあるようです。阿見町においてまだのようでしたら、ご検討いただくのがいいのではないかと存じます。</p>	個別施策へのご意見として、検討いたします。
	1133 平和行政の推進	<p>◇様々な人に自ら命の尊さと平和の大切さを考えてもらうため、企画展や講演会など予科練の歴史や戦史に関する学習の機会を提供します。</p> <p>◇中学生を広島平和記念式典に派遣し、原爆で亡くなられた方々への追悼の意を表すとともに、その体験を各校の生徒へ発表する場を設けるなど、戦争の悲惨さ・平和の意義を正しく継承する人材を育成します。</p>		<p>1133 中学生数名が広島県に行って学習する機会を持つということも良いが、その前に阿見町の小中学生が予科練平和記念館に行ったり、かつて阿見町が軍都であったことを学習し、今ある平和を考える流れが望ましい。</p> <p>1134 中学生海外派遣事業については、見直し・検証をする必要がある。</p> <p>1133 予科練平和記念館のより一層の積極的なメディアでの発信で、外部に認知が上がるのが、観光資源としても、また町内の子どもたち、若い世代の平和の町民意識にも働きかけられるのではないかと思います。</p> <p>1134 阿見町在住の外国人コミュニティの把握（リスクも回避できるので）のためにも、行政の分科会に、阿見町在住の外国人が参加するのもありかなと思います。ただし、外国人の方によっては、自分たちの困っていることを声高に主張して、本来自助の内容を公助に要望することもあるかなと思いますので、大きな元のところの会議ではなく、分科会のような規模のところでもかとも。</p>	<p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>なお、観光としての視点は第6章に、情報発信としての視点は第7章への記載を予定しております。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p>

第1章 ふれあいあふれる協働のまちづくり -協働・人権-					
人と地域の関係を育み、互いに尊重し合えるまち、多様性と包摂性のある豊かなまちをつくります。					
<ul style="list-style-type: none"> ●地方自治が目指す住民自治の浸透を図りながら、みんなが力を合わせ、考え、町民と行政が一体となって協働によるまちづくりを目指すとともに、町民一人一人がパートナーシップを意識しながら誰一人取り残さない社会を実現できるまちを目指します。 ●地域コミュニティ活動・地域間交流を推進し、社会参加の促進による良好なコミュニティの形成を図ることで、地域づくりを担う人材の育成と、住み慣れた地域への郷土愛を育むまちを目指します。 ●人権を尊重する意識の向上を図るとともに、過去の歴史から学び平和を希求する心、命の大切さを後世に伝え、受け継いでいくまちを目指します。 ●男女の性別、障害のあるなしに関わりなく、誰もが社会に参画し活躍できる多様性と包摂性のあるまちを目指します。 					
細節	個別施策	個別施策の展開	目指すまちの姿を実現するための個別施策の印象	委員からの意見	事務局補足
(続) 多様性のある社会の実現	1134 国際交流活動の推進	<p>◇阿見町国際交流協会と連携して、国際交流の推進を通して多文化共生社会の構築に繋げていきます。また、外国籍の町民が安心して暮らせるよう、生活に係る多様な支援や町民の国際理解を踏まえたまちづくりを推進します。</p> <p>◇姉妹都市であるアメリカスーベリア市と友好都市である中国柳州市へ隔年で中学生を派遣し、ホームステイを実施します。</p>		<p>【多様性のある社会の実現】へのご意見の続き</p> <p>1134 町として国際交流活動を推進していることはわかるのですが、町内のほとんどの方には縁のない状態のように思えます。若いほど多様性などを受け入れることに抵抗がないと思うので、その環境は若いうちから作ることが出来ると思うので、参加者についてももっと考えていただけると町の国際交流も活発になるのではないかと考えます。</p> <p>ただし以下についても検討してはいかがでしょうか。 P10個別施策①-1131、取組の成果「男女共同参画社会…向上しています。」 ⇒具体的な成果目標も追記してはいかがでしょうか。 例：活動が充実し交流が促進され、女性委員の登用が進んでいる。（そのための指標を考え、目標管理されてはいかがでしょうか。）</p> <p>1131 女性団体への支援、女性委員の登用など女性をひいきするやり方は平等とは思えません。男女関係なく優れた人や団体を支援すべきと考えます。</p>	<p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>指標については、細節ごとに2つ程度掲載する予定となっております。指標への掲載について、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p>

第1章 ふれあいあふれる協働のまちづくり -協働・人権-					
人と地域の関係を育み、互いに尊重し合えるまち、多様性と包摂性のある豊かなまちをつくります。					
<ul style="list-style-type: none"> ●地方自治が目指す住民自治の浸透を図りながら、みんなが力を合わせ、考え、町民と行政が一体となって協働によるまちづくりを目指すとともに、町民一人一人がパートナーシップを意識しながら誰一人取り残さない社会を実現できるまちを目指します。 ●地域コミュニティ活動・地域間交流を推進し、社会参加の促進による良好なコミュニティの形成を図ることで、地域づくりを担う人材の育成と、住み慣れた地域への郷土愛を育むまちを目指します。 ●人権を尊重する意識の向上を図るとともに、過去の歴史から学び平和を希求する心、命の大切さを後世に伝え、受け継いでいくまちを目指します。 ●男女の性別、障害のあるなしに関わりなく、誰もが社会に参画し活躍できる多様性と包摂性のあるまちを目指します。 					
細節	個別施策	個別施策の展開	目指すまちの姿を実現するための個別施策の印象	委員からの意見	事務局補足
産学官連携	1141 連携事業の推進と展開	<p>◇大学や企業、研究機関等との連携協定に基づき、地域の課題解決や活性化に向けた取組を推進します。</p> <p>◇町や地域が抱える行政課題を積極的に提示し、事業の企画立案段階から大学や企業、研究機関等の知見を活かせる仕組みを構築するなど、新たな連携分野を見出すための仕組みを検討します。</p> <p>◇産学官連携に町民が主体的にかかわることにより地域の課題を解決していく仕組みを調査研究します。</p>		<p>ゼロカーボンシティ宣言など様々な取り組みが行われた。これからの町の課題を産学官連携を通じて今までより、大きな結果の出るようなプロジェクトを計画すべきである。理念だけで、具体性に欠ける。</p> <p>阿見町在住の学生をいかに参加させるかが課題で、そのための方策が用意されているべきではないでしょうか。</p> <p>阿見町と県立医療大学との連携は、現在、介護予防事業で協力しているものの、せっかく養成した大勢のボランティア人材の活用にまでつながっておらず、活用方法について提言してもいいと思う。</p> <p>なお、毎年大学側から新たな企画の提案を行う機会があるものの、最近はあまり活発な提案がない。これは大学側の課題ではあるが、逆に町からの提案があってもよいと思う。</p> <p>産学官連携の取り組みをもう少し町民に広報し、周知することも有効だと思う。</p> <p>ただし以下についても検討してはいかがでしょうか。</p> <p>P13行政の役割、2行目 「行政課題の…仕組みを検討します。」 ⇒課題解決のために、民間の調査会社・IT企業との連携も積極的に考えてはいかがでしょうか。</p> <p>素晴らしい企業、大学、研究機関があるのですから、もっと町としても子ども達が学べる機会を作っていたきたいです。早くから育てて欲しいです。</p> <p>成果欄に“収益のある事業が生まれる”を加えると、〈仕組み・調査研究・質の高い行政サービス〉の先のゴールになるのではないかと考えます。</p> <p>大学や企業側にメリットや儲かるようにしないと旨味がないのでは。</p>	<p>ゼロカーボンシティの推進にあたって、今回新たに第4章第2節にて、個別施策を設けることとしました。</p> <p>産学官連携は一つの手法であることから、こちらの個別施策には記載せず、第4章第2節の「4211地球環境保全の推進」にて記載を行なう予定です。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、民間企業との連携について、表記を検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、収益についての表記を検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p>